

天龍

報 廣

第 122 号

2007年12月20日

私たちの村

—12月1日現在—

人口 1,917 人

男887人 女1,030人

世帯数 917 世帯

発行 天龍村役場
編集 総務課
印刷 齋藤印刷所

天龍小学校 10周年記念式典



平成10年4月、全校児童79名で出発した天龍小学校が10年目を迎えたことを記念し10月27日(土)に、天龍小学校開校10周年記念式典が行われました。今から60余年前に建築された天龍小学校体育館には、大勢の参加者が集まり、厳粛な中にも温かな式典が行われました。

式典では、三校一分校が統合に至った当時の様子、天龍小学校の児童の思い出、「村の学校」として果たしていくべき役割、そして天龍小学校の特色ある活動を継続発展させていく決意等さまざまな内容の挨拶が、主催者や来賓のみなさんからありました。

10周年を記念し、午前には音楽会を行い、閉校になった三校の校歌を参加者全員で歌いました。又、午後にはPTA講演会が行われ、天龍小学校校歌作詞者である宮下和男先生により天龍村の思い出が語られました。昨年までに巣立った卒業生は105名。向方小学校、福島小学校、坂部分校、平岡小学校の歴史が息づいています。

☆ おきよめの湯 年末年始営業案内:12月29日～1月1日は休業、2日から営業します ☆

村民功労者などの表彰が行われました

平成19年度村表彰及び国民健康保険健康家庭表彰の授与式が、11月18日(日)の村文化祭の中で行われました。

本年度の受賞者は次の皆様です。

※村長表彰※

◎塚田市三氏(東原A区)

民生児童委員として6期18年、その間、協議会会長職を6年間歴任され、社会福祉の増進に多大な貢献をされました。

◎田村正統氏(大河内区)

村の国民健康保険運営協議会委員として8期16年、国保財政の運営に多大な貢献をされました。

※感謝状※

◎故村澤眞行氏(東京都)

昭和50年東京天龍会発足時から長きに亘り会長を務められ、村の発展に多大なご協力をいただきました。

◎牧内喜一氏(東京都)

東京天龍会発足時から副会長、会長を歴任され、村の発展に多大なご協力をいただきました。

◎勝岡つね子氏(横浜市)

村の発展のため多額の金員を寄付されました。

※国民健康家庭表彰※

◎鈴木貞利さん(北区)

◎大平聖二さん(南中区)

◎原田壽子さん(中井侍区)

後藤美代子さん(福島区) 統計で総務大臣表彰受賞



福島区の後藤美代子さんがこの度、平成19年度総務省の統計功労者表彰を受賞されました。

受賞理由は、昨年度行われた社会生活基本調査の調査員として従事された後藤さんの調査内容が他の調査員に比べ極めて優秀であったことから、最高位の総務大臣表彰となりました。

表彰式は、11月22日、長野県庁講堂にて行われ、総務大臣の代理者から記念品と併せて表彰状を受け取りました。おめでとーございます。

飯田建設事務所・下伊那南部建設事務所・天龍村からお知らせします。

土砂災害警戒区域の指定について

土砂災害から住民の生命を守ることを目的として、平成13年4月1日に「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」(土砂災害防止法)が施行されました。現在、長野県ではこの法律に基づき、県内市町村の土砂災害危険箇所を調査する「基礎調査」を順次進めているところです。

天龍村につきましては、平成18年度までに「基礎調査」を実施し、12月5日(水)と7日(金)に調査結果について住民の皆さんに説明を行いました。今後は法律に基づく「土砂災害警戒区域等」の指定を行っていきたくて考えておりますのでよろしくお願いします。

なお、説明会で配布しました警戒区域・特別警戒区域図については、村内回覧で再度回覧いたします。また、希望者には役場で村内全区域の警戒区域・特別警戒区域図を配布しますので、お気軽にお問い合わせください。

土砂災害防止法で特別警戒区域に指定されると…

◎特定の開発行為に対する許可制

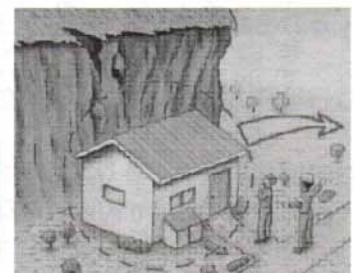
住宅宅地分譲や災害弱者施設の建築のための開発行為は、基準に従ったものに限って許可されます。

◎建築物の構造規制

居室を有する建築物は、作用すると想定される衝撃に対して建築物の構造が安全かどうか建築確認がされます。

◎建築物の移転

著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者等に対し、移転等の勧告が図られます。



問い合わせ先：飯田建設事務所 整備課 担当 宮下 寛 TEL.0265-53-0451
下伊那南部建設事務所 整備課 担当 鈴木 卓也 TEL.32-2155
天龍村役場 総務課、建設課、振興課 TEL.32-2001

平成19年度 税に関する標語・ポスターなど



入選作品を紹介します



天龍村租税教育推進協議会では、租税教育の一環として次の世代を担う子ども達に、税について関心を持ってもらい、税の大切さを知ってもらうため、小中学生を対象として税に関する標語・ポスターを募集しました。各賞を受賞されたのは次の皆さんです。

★ポスターの部（小学生）

賞 名	学校名学年	氏 名	賞 名	学校名学年	氏 名
天龍村租税教育推進協議会長賞	天龍小6年	大 平 優 衣	天龍村教育委員会委員長賞	天龍小6年	大 平 はるか
飯 田 税 務 署 長 賞	天龍小6年	宮 澤 祐 介	みなみ信州農協天竜事業所長賞	天龍小6年	福 士 和 真
飯田法人会天龍支部長	天龍小6年	坂 田 有 紀			

★標語の部（中学生）

賞 名	入 選 標 語	学校名・学年	氏 名
天龍村租税教育推進協議会長賞	税金は 明るい明日を つくりだす	どんぐり向方学園向方中3年	内 田 聖 人
飯 田 税 務 署 長 賞	この税を 正しく使おう みんなのために	どんぐり向方学園向方中3年	飯 田 孝 美
下伊那地方事務所長賞	税金は 豊かな国への 第一歩	天龍中3年	柳 澤 颯 太
天 龍 村 議 会 議 長 賞	税金が いつも暮らしを 支えてる	天龍中1年	秦 慧 児
関東信越税理士会飯田支部長賞	税金で 明るい未来を 手に入れる	天龍中2年	遠 山 博 章
天龍村青色申告会長賞	この税が 未来の僕らの 宝物	どんぐり向方学園向方中3年	黛 修 司
天 龍 村 商 工 会 長 賞	国づくり みんなで払う 税金で	天龍中2年	村 松 梨 沙
飯田信用金庫天龍支店長賞	税金に みんなの未来が かかっている	天龍中2年	花 田 優 真
平 岡 郵 便 局 長 賞	納税は 僕らの夢を ささえるよ	どんぐり向方学園向方中3年	戸 舘 克 寛



小学生入選者



中学生入選者



平成12年度より一部供用開始となった下水道も、早7年を経過しております。今年度は現在で2件の下水道接続世帯があり、それに伴い余野地区において地区別の下水道接続率が天龍村において初の全世帯接続となりました。先日行われました上下水道審議会の際に、余野区へ下水道事業へのご尽力されたことへの表彰状を贈りました。今後の下水道事業において維持管理費が加算されてくることが予想され、現在加入している方の負担増が懸念される状況となっております。これを回避する為にもより多くのみなさんの加入をしていただくようお願いいたします。本来ですと供用開始となった地区においては3年以内での下水道接続が法律で定められておりますので、ぜひご検討していただき、みんなで安心して住みやすい村となるよう、ぜひご理解とご協力をよろしくお願い致します。



下水加入が余野地区で
100%となりました

ふれあいステーション龍泉閣 平成18年度の経営状況を公表します

○収支報告

(単位: 万円)

区 分	平成17年度 決 算	平成18年度 決 算	差引増減
<収 入>			
宿泊温泉売上	1,130	1,506	376
飲食宴会売上	4,080	3,767	△313
売 店 売 上	1,845	1,471	△374
土産(特産品)販売	192	196	4
計	7,247	6,940	△307
売 上 原 価	3,215	3,033	△182
売上総利益	4,032	3,906	△126
<費 用>			
人 件 費	3,810	3,598	△212
(率)	52.6	51.8	
経 費	1,820	1,632	△188
(率)	25.1	23.5	
計	5,630	5,230	△400
営業損益	△1,598	△1,324	274
営業外収入	4	122	118
村補助金	1,200	1,800	600
計	1,204	1,922	718
支払利息、雑損失等	30	72	42
経常損益	△424	526	950
当期損益	△442	507	949
累計損益	△3,029	△2,522	507

○開業以来6年を経過し、村の補助金によるところも大きいですが、初めて、当期損益が黒字に転じました。年々、龍泉閣の利用者も増えています。天龍村にとって観光、交流の重要な施設ですので、業務の見直しを進める中で、改善を進めたいと思います。皆様のご利用をお願いします。

(有)天龍農林業公社 平成18年度の経営状況を公表します

○収支報告

(単位: 万円)

区 分	平成17年度 決 算	平成18年度 決 算	差引増減
<収 入>			
一般受託収入	528	568	40
生産品販売収入	477	549	72
農作業受託収入	997	461	△536
計	2,002	1,578	△424
売 上 原 価	2,466	1,845	△621
売上総利益	△464	△267	197
<費 用>			
人 件 費	1,372	1,053	△319
(率)	55.6	57.1	
経 費	1,094	792	△302
(率)	44.4	42.9	
計	2,466	1,845	△621
営業損益	△1,124	△914	210
営業外収入	41	61	20
村補助金	1,200	900	△300
計	1,241	961	△280
支払利息、雑損失等	0	0	0
経常利益	116	46	△70
当期損益	△23	18	41
累計損益	△38	△20	18

○社員数

※社員数は社長を除く。また臨時労務員は参考

区 分	17年度	18年度	増 減
取締役	5	3	△2
社 員	2	3	1
(臨時労務員参考)	(23)	(24)	(1)
計	7	6	△1

○設立以来5年を経過し、村の補助金によるところも大きいのですが、18年度では人件費、経費の見直し等で純利益剰余金は発生しました。今後につきましては、19年度元気づくり支援金等により「ゆず果汁」の加工施設を村内に新設し、生産の拡大と販売拡大を図ること。また、村の伝統野菜としての「ていざなす」の育苗及び生産の拡大を図る等収入の増収につながる経営努力を促します。また、公社設立の目的である遊休農地の解消については、村の基本構想に示す要活用農地を重点的に利用権契約を進め、経営改善に努めたいと思います。

○施設利用状況

(単位: 人)

区 分	17年度	18年度	増 減
宿 泊 者	1,542	1,697	155
宴会利用者	2,600	2,446	△154
レストラン利用者	13,064	13,841	777
ラウンジ利用者(組)	3,601	2,606	△995
特産品販売利用者	17,930	22,383	4,453
計	38,737	42,973	4,236

○入浴利用者

(単位: 人)

区 分	17年度	18年度	増 減
一般利用者	6,387	6,609	222
村民保養券	2,098	2,412	314
計	8,485	9,021	536

○利用者

(単位: 人)

区 分	17年度	18年度	増 減
合 計	26,415	31,404	4,989

○社員数

(単位: 人)

区 分	17年度	18年度	増 減
社 員	3	2	△1
契約社員	7	6	△1
パート	8	6	△2
計	18	14	△4

○事業報告

1 利用契約農地(耕地面積)

(単位: a)

区 分	17年度	18年度	増 減
田	238	237	△1
畑	261	261	0
計	499	498	△1

2 遊休利用農業経営面積

(単位: a)

区 分	17年度	18年度	増 減
あ け び	23	23	0
栗	30	30	0
か り ん	2	2	0
茶	150	150	0
小 梅	47	47	0
中 梅	24	24	0
く る み	34	34	0
ゆ む ず	8	8	0
す も も	3	1	△2
ビ ー マ ン	14	14	0
て い ざ な す	3	3	0
ト マ ト	3	3	0
ふ さ す ぐ り	1	2	1
水 稲	85	85	0
花 木	25	25	0
切 花	5	0	△5
計	457	451	△6

介護係
より

今年度の地域支援事業(介護予防事業)について

昨年度より、国の方針の下はじまりました「地域支援事業」。今年度、天龍村では次のような事業を行っていますので紹介します。

① さわやか運動教室

おおむね 65 歳以上の方を対象に毎週、リズム運動、竹踏み、ストレッチなど約 1 時間の軽運動を行っています。

(現在は毎週火曜日、13 時半から約 1 時間、老人福祉センターにて行っています。)

② 元気もりもり運動教室(特定高齢者対象)

生活・運動機能等の低下が懸念される方を対象に、柔道整復師の先生に筋力低下防止の指導を受けています。

(対象者は基本的に毎年変わります。対象者には役場より通知を差し上げています。)

③ いきいき教室

高齢になった時の生きがい作り、趣味作り。楽しい時間を過ごすためのお手伝いをする教室です。毎週、体操・手芸・お菓子作り・簡単料理・講話などを行っています。

(現在は、毎週木曜日、13 時半から約 2 時間、老人福祉センターにて行っています。)

④ 歯科相談

村内を歯科医師先生と保健師が回り、歯の検診、相談を行っています。

⑤ おきよめ湯ったり運動教室

誰でも気軽に出来る、軽度で楽しい、運動教室を毎月第 3 月曜日の午後行っています。

(今後の日程：1 月 21 日、2 月 18 日、3 月 17 日。)

いずれも 13 時半から約 1 時間)

おきよめ湯
たり
運動教室



(内容については役場住民課介護係までお問い合わせください)

「あなたの提言ボックス」によせられた声 No.18

(平成19年10月
～11月開箱分)

設置場所	提言の概要及び提案者	回答・対応等
役場	<提言内容> 高齢化時代を生き抜く村としての積極的な村政に感謝しつつ現状おかれている自分の住む集落に於いては、日一日とその機能は住民意識の多様化、職業の多角化等に連動して、高齢化による健康問題の加速化、さらに家族の移住による空き家現象とそれに伴うチャドクガの異常発生、獣害の発生等環境条件の悪化も顕著になってきた。 かつて、機能していた集落の多面的機能は上記の要因等により一部に残るも過去機能になりつつある。 このような集落機能の失速による高齢者の集落に居住する気持ちは、自分の始末(葬儀)も含めて極めて不安定であり、複雑である。さらに、生活用品の入手についても高齢化故、自家用車の運転、店舗の減少等により困難を極めている。 よって、これら身近にある諸課題について、地域住民自らの知恵と工夫によってどれ位の解決が出来るのか。或いは活動が可能かその手法について住民自身による研究会を早急に立ち上げてほしい。 なお、その研究会の主要な責務を自らが担う事を約束します。 <研究会の名称> 限界自治体現象を逆手にとったムラ再生プロジェクト(仮) *一部省略 (村民)	今回、ご提言いただいた「村民自らが自分たちの住んでいる地域を創意と工夫によってよりよくしよう」というお考えは、まさに平成16年9月に村がとりまとめた「むらづくり計画」の基本である「協働型のむらづくり」の考えに合致するものであり、この考えは村としてこれまで各種の計画に取り入れられ、行政改革の中でも重点的に推進してきているところです。 こうしたことから今回のご提言である「限界自治体現象を逆手にとったムラ再生プロジェクト(仮)」という研究会も、行政が先導して参加者を集めるよりも村民自らが呼びかけをして集めた方が、身近な課題等に対して自由闊達なご意見が多く出されると思われ、よりご提言の主旨に近い組織ができるものと思われま。 また、集落機能を維持するための再編等につきましては、既に自主的に地区内の班の統合や組み替えをした地区もありますし、地区の住民がまとまって生きがい作り等をしている地区もあります。地域の実情は地元の方でないといわれない事が多くありますので、まずは、身近な地区単位でご協議いただき、それが良い見本となって他地区や村全体に広がっていければ活性化にもつながると思われま。 村としては、行政無線による放送や回覧等による呼びかけなど、そうした皆さんの活動を可能な限り支援したいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

* 毎月多くのご提言等をいただきありがとうございます。村では、皆様からいただいたご提言等を1件ずつ検討させていただき、その結果を提案者に回答させていただくとともに、いくつかの提言等については、広報天龍にて公表をさせていただいておりますが、提言者の住所・氏名が未記入の方に対しては折角のご提言等に対して回答することができません。ご意見等をお寄せいただける方におかれましては、是非住所・氏名のご記入をお願いいたします。

トピックス

渋谷フェスティバル

11月3日(出)、4日(日)の2日間、「第30回ふるさと渋谷フェスティバル」に参加し、天龍村のブースを出店しました。梅漬けや玄米パン、お茶やていざなすなど数多くの村の特産品を販売し、たくさんの方にお買い上げいただきました。

紅葉列車ツアー開催

10月29日～12月1日までの間、村観光協会では紅葉列車ツアーで平岡駅へ列車でお見えになったお客様に、いのしし汁を振舞いました。

期間中延べ800人以上の方に味わっていただきました。肌寒くなってきたこともあってか、「あったまるね。」「おいしかったよ。」と大変喜ばれました。



紅葉列車ツアー



渋谷フェスティバル(多田さんと一緒に)

また、昨年、一昨年とインターン事業で天龍村へお見えになった多田さんと堀内さんが会場へ駆けつけて、販売のお手伝いをしてくれました。今年も渋谷フェスティバルの参加に際しまして、東京天龍会の皆様には、何かと大変お世話になり、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

村長杯バターゴルフ大会

第5回となる天龍村長杯バターゴルフ大会が、去る11月25日(日)にニセンジ自然公園バターゴルフ場で開催されました。当日は肌寒くはありましたが、快晴で絶好のバターゴルフ日和の中、18名の参加がありました。

皆さんが思い思いのプレー



渋谷フェスティバル(堀内さんと一緒に)

製材機実演会開催

11月24日(出)に、おきよめの湯近くの川島イベント広場で移動式簡易製材機を使った実演会が開催されました。

天龍村は90%以上が山林で占められており、森林の整備について、大きな問題になっています。



製材機実演会

を終了後はニセンジふれあい館で表彰式と懇親会を行ってお互いの親睦を深めました。当日は、村内外から大勢の人が訪れ、製材機の使用方法について、熱心に話を聞いていました。



村長杯バターゴルフ大会

前期高齢者医療制度の見直しについて

今般「与党高齢者医療制度に関するプロジェクトチーム」において、高齢者医療制度について次のとおり取りまとめられ、政府としても実施することとされましたので、その内容をお知らせします。

なお、今後、正式に内容が決定した段階で改めてお知らせさせていただきます。

◎変更点

70～74歳の方の窓口負担について、昨年の制度改正では平成20年から2割負担になるとされていましたが、平成20年4月から平成21年3月までの1年間、窓口負担が1割に据え置かれます。

なお、既に3割負担を頂いている方、平成20年4月以降後期高齢者医療制度の対象となる一定の障害認定を受けた方は除きます。



「ウォーキング講座」が 開催されました

11月13日(火)に、元ソウル五輪競歩代表の酒井浩文先生をお迎えして「ウォーキング講座」を開催しました。中学生から高齢者まで約25名が参加し、効果的なウォーキングの方法を学びました。

酒井先生からの講義では、ウォーキングは加齢とともに衰えてくる身体機能の低下に対して効果的な作用をもたらすとのこと学び、実技では正しい姿勢でのウォーキングを行うことを学びました。これにより普通の歩行よりもずっと体力を使い、みなさん少しのウォーキングで汗がにじむほどの運動量が得られることを実感することができました。運動は、生活習慣病の予防に大変効果的です。今後多くの方が生活の中に運動を取り込み、健康を増進していただきたいと思います。



民生・児童委員の改選

民生・児童委員の一斉改選が行われ、12月1日付で厚生労働大臣より委嘱状が交付されました。

今後3年間、しんばい事相談や村の福祉の向上のためにご尽力いただきます。生活上の問題などお気軽にご相談下さい。なお、今回の改選により、

◆退任委員◆

○塚田 市三さん
○遠山 順二さん
○上野今朝江さん
○大平 達子さん
○熊谷 修吾さん
○宮澤 久恵さん
○恩澤 龍雄さん

次の7名の方が退任されました。永年、地域福祉の向上にご尽力いただきましたこと心から感謝申し上げます。

天龍村民生児童委員

(任期：平成19年12月1日～平成22年11月30日)

氏 名	連絡先電話番号	担当地区
柳澤 久恵	32-2021	岡本・中央・余野
後藤 知久	32-2703	東原AB・西原
松澤 睦子	32-2441	本町・北・清水・折立
宮澤 武清	32-2622	南上・栄町
宮澤 洋子	32-2573	長野・長野町
高松 道子	32-2234	南中・南下
金田 隆	32-2221	鶯巣・十久保・下山
大平沙智子	32-3389	中井侍・上平・鶯巣宇連
関 トクミ	32-3453	福島・倉の平・坂部
村松 作男	32-3321	中組・大久那・戸口
坂本 芳子	32-3131	向方・峠山
村松 正治	32-3574	大河内・梨畑・見遠
大平 宮正	32-2721	松島・長沼・長島宇連・為栗・合戸
(主任児童委員)		
宮澤みよ子	32-2591	天龍村全域

阿南警察署だより

1. 依然として多い「振り込め詐欺」被害!!

「振り込め詐欺」とは、いわゆるオレオレ詐欺、架空請求被害、融資保証金詐欺の総称を言います。

阿南警察署管内でも「振り込め詐欺」についての相談などが多数寄せられています。

長野県内の振り込め詐欺被害の認知件数

		平成18年中		平成19年 7 月末	
		件数	被害額	件数	被害額
振り込め詐欺合計		336	4 億8,310万円	180	2 億510万円
内訳	オレオレ詐欺	91	1 億7,440万円	39	8,620万円
	架空請求詐欺	66	9,410万円	32	3,510万円
	融資保証金詐欺	179	2 億1,460万円	109	8,380万円

2. 振り込め詐欺

(1) オレオレ詐欺とは？

電話を利用して親族、警察官、弁護士等を装い交通事故の示談金、会社での横領・トラブル等の名目で現金を預金口座に振り込ませるなどの方法により騙し取る(脅し取る)詐欺を言います。

手口は様々で、最近では「携帯電話を落としてしまった。新しい番号になった」と前もって連絡をして、数日後に身内を語る手口も発生しています。

(2) 架空請求詐欺とは？

身に覚えの無い料金請求の事で、郵便、インターネット等を利用して不特定多数の者に対し、架空の事実を口実とした料金を請求する文書・メール等を送付するなどして、現金を預金口座等に振り込ませるなどの方法により騙し取る詐欺を言います。

(3) 融資保証金詐欺とは？

実際には融資しないにも関わらず、融資する旨の文書等を送付する等して、融資を申し込んできた者に対し、保証金等を名目に現金を預金口座等に振り込ませるなどの方法により騙し取る詐欺を言います。

3. 詐欺被害に遭わないために

振り込む前に、まず相談を!!

相談先 阿南警察署生活安全刑事課
TEL.0260-25-0110

村内の除雪体制について

今年度も冬を迎えるにあたって各業者と調整を図り、道路等除雪の割り当てを行うこととしました。

除雪は、積雪が概ね10センチを基準として行うこととしております。

村内の道路は、国、県道約38キロ、林道約60キロ、村道にいたっては約120キロと管理延長が長く、地域的にも降雪量のばらつきがあり、また、除雪機械につきましても、普段土木作業に使用している機械のため、除雪に手間取ってしまい、毎年大変ご迷惑をお掛けしているところではあります。村では出来る限り万全の体制を整え除雪を行いますので、村民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

なお、凍結防止剤につきましては、役場及び南支所にストックしてありますので、村林道等公共の道路で散布の必要がある場合には役場建設課までご連絡下さい。

また、一部の凍結危険箇所へ塩カルボックスを設置しておりますので、ご利用頂くとともに塩カルルの残量等お気づきの方がおられましたらご連絡をお願いします。

水道の凍結に注意！

水道にも冬支度を!!

年末年始を迎え寒さが一段と厳しくなり、水道の凍結が心配されるようになりました。皆様の家庭では、もう水道の冬支度はお済みでしょうか。もう一度水道管並びにメーター器の凍結防止の為、次の点について確認をお願いします。

●メーター器が凍結しないように、メーター器ボックス内を充分保護してください。屋外に出ている水道管には保温材を巻いてください。特に立ち上がり部分には土の中へ最低20cm保温材を巻き、蛇口の部分も保護してください。

●不凍栓を取り付けてある所は、寝る前に必ずバルブを締めて蛇口を開いてください。

●万一、メーター器や屋内の水道管が破損して漏水した場合は、メーター器ボックス内にある止水栓を右に回して閉めてから、水道工事業者に修理を依頼してください。

2007年 村のおもなできごと

- 天龍村誕生 50 周年記念切手発売
- 台風 4 号 (H18. 7 月) による被害甚大 (雨量 300 ミリ超)
- 地域づくりインターン事業で大学生 2 名が村内で各種体験
- 天龍村アートプロジェクトによる映画「龍宮」の撮影行われる
- 議員定数削減決定。次回選挙より 2 名減の 8 名に
- 固定資産税率を 30 年ぶりに引き上げ
- 天龍村空き家情報登録制度がスタート
- 村公用車に青色回転灯が配備される
- おきよめの湯入場者数 100 万人を突破
- 列車ツアーイベント受入れ大好評
- 農家ホームステイ受入れ大好評
- ていざなす、信州伝統野菜に認定される
- 飯田線全線開通 70 周年記念事業
JRさわやかウォーキング「大蛇山道遊歩道を歩く」開催
- 村道原清水線開通
- 土砂災害警戒情報が初めて発令される
- 放課後子どもプラン発足
- 天龍小学校創立 10 周年記念式典が行われる
- 鹿児島県龍郷町よりドラゴン交流団来村
- 天龍梅花駅伝、50 周年記念で招待チーム迎え盛大に開催

保健師だより

インフルエンザの予防について

インフルエンザは冬場に流行します。これは、インフルエンザのウイルスが空気感染すること、また、冷たくて乾燥した空気が気道粘膜の抵抗力を弱め、ウイルスに感染しやすくなるためです。

そこで、インフルエンザにかからないよう予防するには、第一にインフルエンザのウイルスに近づかないことが挙げられます。よって、インフルエンザのウイルスがいない、どうしな人ごみには出ない、どうしても出なければいけないときはマスクをする。

また、ウイルスを寄せ付けないよう手洗い、うがいを欠かさないこと、部屋の換気や、湿度を保つことが大切です。そして、十分に休息・栄養をとることでウイルスに負けない体を作りましょう。

この冬も元気に過ごせますよう実践してみてください。

年末年始の可燃ごみ収集について

桐林クリーンセンターが12月31日(月)の午後から1月3日(休)まで休業となります。

年末は12月28日(金)まで収集し、年始は1月4日(金)より通常の収集となります。